

2019年12月23日

JXTGホールディングス株式会社

ビーワイディージャパン株式会社

E Vバス向け蓄電池の循環モデル構築に向けた協業について

JXTGホールディングス株式会社（社長：杉森 務、以下「JXTG」）と比亞迪（BYD）の日本法人ビーワイディージャパン株式会社（社長：劉 学亮、以下「BYDジャパン」）は、このたび、基本合意書を締結し、E Vバス向け蓄電池の「リース・リユース・リサイクル」循環モデルの構築に向けた協業を開始することをお知らせいたします。

リチウムイオン電池をはじめとする蓄電池は、E Vの動力や再生可能エネルギーの調整力、災害時の非常電源など、様々な分野での活用が期待されております。一方、その複雑な構造・特性から性能評価が難しいため、リユース・リサイクルの仕組みは確立されていません。

JXTGグループは、蓄電池の活用が期待される電力事業および金属リサイクルに関するノウハウを有しており、BYDは、創業以来の事業である蓄電池に高い技術とノウハウを持ち、2015年から4年連続、E V販売台数で世界シェアトップを誇っています。

これらの強みを結集し、両社は、E Vバスに搭載される蓄電池をバス運行会社にリース（一次利用）、E Vバスで使用済みとなった蓄電池を回収して定置用蓄電池としてリユース（二次利用）、さらにリユース後の蓄電池を素材レベルへ分離し、新規材料へ活用するリサイクル（三次利用）を図る循環モデルの構築に取り組みます。

循環モデル構築に向け、両社は、2020年春からバス運行会社と共同で、E Vバス運行の実証実験を開始し、運行データや蓄電池の消耗度など、E Vバス向け蓄電池リースに向けた情報収集を行います。また、実証実験で使用するE Vバスをはじめ、BYDジャパンより提供されるE Vバスの使用済み蓄電池を定置用蓄電池として活用するリユースの実証実験も併せて実施します。本協業の開始によって、両社は循環モデル実現に向けた一歩を踏み出し、リサイクルの技術・運用を含めて2025年を目途に本モデルの確立を目指します。

両社は、蓄電池の「リース・リユース・リサイクル」を通じて、持続可能な循環型社会の形成に貢献してまいります。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

報道機関の方	JXTGホールディングス株式会社 広報部広報グループ TEL：03-6257-7150
	ビーワイディージャパン株式会社 広報担当 長谷川 TEL：045-290-6550
製品に関して	ビーワイディージャパン株式会社 電気バス受付窓口 TEL：0120-934-557